

10/9 (日) 一文字書道コンクール

10月8日(土)～9日(日)にかけて、文化会館小ホールで「第8回一文字書道コンクール」が開催されました。このコンクールは、上手さや技術ばかりでなく、「誰もが楽しく書を味わう」ことを目的に開催されているものです。

今回は、全国から2,498点の応募があり、市内からは大賞に東小学校6年の山西健太さん、特選には矢板中学校2年根本佳苗さんの作品が選ばれました。主催の柿沼翠流さんは「毎年応募作品数が増加し、内容も確実に進歩している。今後も発展させていきたい」と話してくれました。



10/10 (祝・月) サッカーフェスティバル

矢板運動公園で、「第36回サッカーフェスティバル」が開催されました。栃の葉国体を契機に始まった長い歴史を持つサッカーフェスティバルは、「サッカーのまち矢板」を印象付ける催し物の一つになっています。

会場では、リフティング大会やドリブル競走のほか、フットサル大会が行われ、幼稚園児から社会人まで述べ59チーム337人の参加者が優勝を目指し、さわやかな汗を流しました。参加者からは、「楽しかった。また来年も参加したい」などの声が聞かれました。



10/21 (金) ミヤコタナゴ生息調査

山田地区のため池で、山田ミヤコタナゴ保存会を中心に65人が生息状況を調査しました。保存会では、国指定天然記念物のミヤコタナゴが生き続けられる環境を次世代に引き継いでいくため、見回りや下草刈りなどを定期的に行っています。

調査の結果、275匹と昨年より減少しましたが、稚魚の数が増えていることから、経過を見守ることになりました。調査に参加した泉小学校の児童は「これからも自然を大切にミヤコタナゴを守っていききたい」と話していました。



10/22 (土) 泉地域にふれあいを

泉公民館で、「第21回泉地域ふれあい祭り」が開催されました。会場には、新鮮な地元野菜や日用品のバザー、つきたての餅などを求め、多くの方が集まりました。また、泉小学校の児童によるダンス披露や泉中学校の生徒によるゲームコーナー運営も行われ、会場を盛り上げました。

23日(日)にかけては「第36回泉地区作品展」が開催され、泉保育所の園児たちが作った可愛い作品から、公民館講座で学んだ技術を生かした作品など、多くの作品が展示され、訪れた方を楽しませました。



10/23 (日) 日本酒を楽しむ

市内の日本料理店で、「第4回おいしい地酒を楽しむ会」が開催されました。このイベントは、矢板小売酒販共栄会が主催し、市内の富川酒造、森戸酒造をはじめ、県内4つの酒蔵の協力により行っているもので、日本酒のファンを増やすことを目的としています。

当日は、初参加の方から毎回楽しみにしている方まで、82の方が日本酒を楽しみました。参加者からは「初めて飲むお酒も多く、とても楽しめた。飲み比べることで、好みの味を知ることができた」との声が聞かれました。



10/27 (木) 新・BS日本のうた収録

文化会館大ホールで、市とNHK宇都宮放送局共催による「新・BS日本のうた」の公開収録が行われました。この番組は、時代を超えて愛される日本の名曲をゲスト歌手の共演でお届けするもので、観覧希望のハガキは全国から5,500通以上届き、当選倍率は12倍を超えました。

歌手と地元出演者によるスペシャルステージでは、加藤登紀子さん、森昌子さんと防災に関わる5団体75人が、東日本大震災の際に加藤さんが作詞・作曲した「今どこにいますか」を歌い、会場を沸かせました。



10/28 (金) 県民スポーツ大会！

鬼怒グリーンパーク上流広場で開催された「県民スポーツ大会」グラウンド・ゴルフの部で初優勝した矢板市代表の皆さんが、市長を表敬訪問しました。

県民スポーツ大会は、「県民ひとり1スポーツの推進」をスローガンに開催されているもので、対抗競技20競技(市または町対抗で競技)とオープン競技5競技(クラブ対抗での団体競技)が実施されました。グラウンド・ゴルフは対抗競技の中の1つで、矢板市チームは、14市が参加する中、見事優勝を果たしました。



(上写真・上段左から)
・村上教育長
・渡邊体育協会会長
(上写真・上段中央)
・齋藤市長
(左写真・中央)
・福本グラウンド・ゴルフ協会会長

10/30 (日) ツツジの名所を守ろう

八ヶヶ原の大間々で、63人のボランティアによるレンゲツツジの枯れ枝除去作業が行われました。大間々には約20万本のレンゲツツジが自生しており、毎年満開の時期には多くの観光客でにぎわいます。この作業は、来春の花付きを少しでもよくするために行われているもので、例年参加している方も多く、「矢板が誇るツツジの名所を守る手伝いができてうれしい」などの声が聞かれました。

作業後には、山の駅たかはらで山ゆりの会の皆さんにより八宝鍋が振る舞われ、参加した方の疲れを癒しました。



秋の叙勲おめでとうございます



瑞宝双光章
【学校保健】
高塩 治郎さん
(扇町2丁目)

1967年から片岡中学校、東小学校、安沢小学校、矢板小学校で学校歯科医を務められました。



瑞宝双光章
【消防功労】
高塩 洋さん
(乙畑)

1971年に塩谷広域行政組合に入り、2008年に消防指令長で退職されました。



瑞宝単光章
【矯正業務】
坂本 薫さん
(東町)

1978年に法務教官になり、喜連川少年院に勤務し、2014年に退職されました。

市政功労者表彰おめでとうございます

11月1日(火)、文化会館小ホールで市政功労者に対する表彰式が行われました。

受賞された皆さんは、長年にわたり、各分野でご活躍された方、篤行に優れた方、市に対して寄付をされた方で、市長からはこれまでの功績に対する感謝の言葉とともに賞状が手渡されました。

【市政功労表彰】(順不同・敬称略)			
各分野で功労顕著な方			
相馬 宗司	消防	遠藤 忠	市長
村上 進一		大森 敏	教育長
貝塚 真夫		齋藤 勝位	行政区長
齋藤 伸幸		小口 晋	保健委員
		赤羽 陽一	
篤行に優れた方			
北野富美子	援護厚生	大澤良央・フク夫妻	環境美化活動
関谷 和子		大正琴	社会福祉施設への慰問
秋葉 節子		わすれな草	
塩野 和子		柳 ハル	
高塩みさを		矢板市婦人会	地域コミュニティ活動
小野崎徳男		豊田 文子	
坂巻 重行	高橋スポーツ店		
市に対して寄付された方			
大島 勉	育英会	矢板保育園	高原基金
八板 誠	育英会および高原基金	保護者会・職員一同	



10/30(日) 原博実さん熱血指導

矢板運動公園で、Jリーグ副理事長原博実さんのサッカー講習会が開催されました。これは、「スポーツのまち矢板」のPRや栃木国体で活躍する選手の育成・支援などを目的に、市サッカー協会、ヴェルフェ、矢板中央高校の協力の下、ソフィアが主催したものです。

原さんは、市内外から参加した小・中学生約220人を前に、シュートやヘディングなど手本を見せながら熱心に指導を行い、その後の講演会では、スポーツを核としたまちづくりの可能性などについて、熱く語りました。



10/30(日) 林業ってカッコいい!

県民の森の育樹祭会場跡地で、「とちぎ林業グランプリ2016」が開催されました。これは、「魅せる林業・目指せメジャー化〜林業ってカッコいい!〜」をテーマに昨年に引き続き、開催されたものです。会場では、伐木・造材技術競技会が行われ、参加者たちはグランプリを目指し、日頃培った技術を惜しみなく発揮していました。そのほか、林業機械の実演や操作体験コーナーが設けられ、来場者からは「普段見る機会がないので、よい経験になった。林業に興味湧いた」などの声が聞かれました。



11/3(祝・木) 秋の矢板をハイキング

2日(水)〜4日(金)にかけて、「駅からハイキング」が開催されました。今回のテーマは「りんごのまち矢板市の小さな歴史探訪」。清々しい秋風とりんご園などの木々の香りを感じながら、普段紹介されない史跡を巡る約14kmのコースに、3日間で約240人が参加しました。剣神社、芭蕉句碑、塩竈神社、矢板武記念館などの史跡や神社では、観光ガイドからその場所にまつわる解説を受け、また、長井地区のりんご園地では、旬のりんごを試食するなど、秋の矢板を満喫している様子でした。



11/3(祝・木) 秋のお祭り大集合!

市役所周辺で、「第39回福祉まつり」「健康まつり」「第8回秋祭りを楽しもう」「矢板地区子ども会まつり」「第49回矢板市文化祭」が同時開催されました。当日は、秋晴れの下、子どもからお年寄りまで多くの方が訪れ、イベントを楽しみました。各イベントでは、中学生をはじめとするボランティアの皆さんが活躍し、来場者を楽しませようと、工夫を凝らしたおもてなしを披露しました。たくさんの方が交流を深め、笑顔の絶えない一日となりました。

